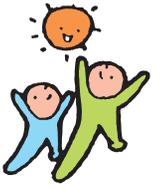




Liberal & Democratic

vol.027

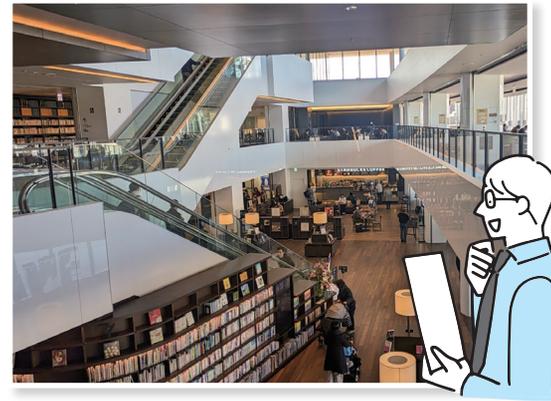
自由民主党 蒲郡市議団通信



神奈川県大和市の『シリウス』視察しました



蒲郡市でも計画が進んでいる複合施設の建設ですが、先進的な施設である神奈川県大和市の「文化創造拠点シリウス」を訪問しました。ホール・図書館機能があるだけでなく、カフェやワーキングスペース、子育て関連施設や交流センター、市民交流スペース・各会議室など、多種多様な機能を有した、規模の大きな施設です。ホールや各会議室の使用率が8～9割程度と非常に高く、平日日中にも関わらず多くの方で賑わっていたことが印象的でした。また、市役所の連絡所があり、戸籍・住民票の写し・市税などの受付もできるようになっています。最寄り駅から大きな歩道が整備されており、アクセスもよく工夫されていました。蒲郡市のプロジェクトにおいても、大いに参考にしてみたいと思います。



おおば やすのり
団長 大場 康議

大震災からの教訓を活かす

今年1月に発災しました能登半島地震により、お亡くなりになられた御霊に対し心よりお悔み申し上げます。大震災からの教訓は、蒲郡市の危機管理に生かさなければなりません。私は3月議会で、市内水道管路の老朽化率が他市に比して高い状況や、木造住宅で耐震化が進まない状況を改善する事と、地震に起因する火災発生を防ぐための感震ブレーカー設置補助制度の創設、及び有事の際に住民が取り得る避難行動を地区防災計画(学校区単位)に定めるように提言いたしました。



あおやま よしあき
議長 青山 義明

議員定数について

蒲郡市議会は現在、20人の議員で構成されています。議員定数については過去にも何度か議論されてきましたが、具体的な動きには至っておりません。そこで、近年の人口減少や財政状況、近隣の自治体の状況をかんがみ、議員定数の見直しは避けられない課題であることから、議長として議会運営委員会理事会に投げかけをしました。次回の市議会議員選挙直前での検討ではなく、しっかりとした議論を行うため各議員や市民の皆様の意見を広く聴きながら、具体的な議員定数を検討していかなければならないと思います。



すずき まさひろ
幹事長・総務委員長 鈴木 将浩

政策推進の課題

企業だけでなく、行政でも政策立案や施策実施を進める上で、ビッグデータ等の利活用・KPI(重要業績評価指標)・マーケティング・プロモーション・EBPM(証拠に基づく政策立案)の考え方を取り入れる事例が増えています。3月の一般質問で取り上げましたが、横文字も多くて分かりづらく、専門的な知見も必要ですが、限られた人員・財源の中で、より効果的な政策・施策を行う意味でも、蒲郡市としても取り組んでいただきたいと思います。



おおすか はやし
副議長 大須賀 林

市政70周年の節目にあたって

能登半島の地震災害が令和6年元日に発生しました。テレビで人がたっていてられないほどの揺れや、家や塀が倒壊する様子を目の当たりにすると、次こそこちらに大地震が来るんだろーなどの覚悟をもって、防災・減災に取り組んでいかなければならないと感じます。本市は今年度市制70周年を迎え、改めて安心安全な蒲郡が今後も続いていけますよう、市民の皆様とともにお祝いしてまいりましょう。誰一人取り残さない蒲郡を目指して市政に取り組んでまいります。



政調会長・文教委員長 **藤田 裕喜**

市内の日本語教室の存続をめぐる

現在、蒲郡市内には3,000人を超える外国籍住民が暮らしており、合計5ヶ所の日本語教室が開催されています。このうち3ヶ所は、国際交流協会の主催で、運営はボランティアのみなさまに任せられています。3月の議会では、日本語教室が今後も継続できるよう、補助金を増額することや、市内の全域から参加しやすい場所に教室を増やすことなど、検討をお願いしました。多文化共生できる蒲郡市となるよう努めて参りたいと思います。



総務委員会副委員長 **千賀 充能**

防災計画について

ウェルビーイングのまちづくりを実現するためには、減災や防災についての対応もしっかりとした計画を立てる必要があります。行政が作成する防災計画だけでなく、住民同士が話し合いながら作成することで、よりきめ細かな救助や避難が可能になります。自己防衛は個々の責任ですが、災害時には1人ではできないことが多いです。お互い助け合う「共助」があれば、人とのつながりの中で不可能を可能にできます。地域の特性に応じて立てられる地区防災計画は、地域コミュニティと連携しながら継続的に改善されていく事が必要だと思います。



文教委員会副委員長 **八田 寿人**

防災関連情報の伝達：命を守る鍵

自然災害の激甚化が顕著化し、迅速かつ正確な情報伝達が重要になっています。災害発生時、住民は混乱状態に陥りやすく、適切な行動を取るためには、何が起きているのかを把握することが重要です。

蒲郡市では、蒲郡市安心ひろめーる、防災アプリyahoo!防災速報、蒲郡市公式LINE、防災行政無線と様々な手段で情報発信しています。日頃から防災意識を高め、行政からの情報伝達手段を確認しておくことが、命を守るために重要です。



中野 香余

愛し 愛され 蒲郡

令和6年度、蒲郡市は市制70周年を迎えました。その昔、蒲形村と西ノ郡村の一字ずつを取って誕生した蒲郡、波静かな三河湾と五井山を始め山々に囲まれた豊かな自然、先人たちの努力によって築かれた観光や時代とともに新たに創出された産業で発展してきました。この先も市民一人ひとりが、健康で幸福を実感できる蒲郡をみなさまとともに創ってまいりたいと思います。市制70周年の記念事業、みなさまと一緒に楽しみましょう！



芦刈 純奈

地域コミュニティ活性化に向けて

自分たちの住んでいる地域がどのような町でどのような活動をしているのかご存知ですか？常会の加入や子ども会への加入には意味があります。私たちが住みやすい環境になっているのは当たり前ではなく、地域の方々のご努力があるからです。また、災害等起こった際は必ず地域との助け合いが必要となります。子どもの内から地域の方々と関わり繋がりを持ち、地域コミュニティの活性化に繋がるよう未来の蒲郡の担い手も作っていきましょう！

令和6年 予算委員会での 質疑を紹介します



千賀 充能

将来の部活動、公用車EV車導入、カラー舗装工事費、防犯カメラ、公共交通体系整備事業費について

八田 寿人

情報システムの標準化・共通化・最適化、児童手当システム改修、あじさい園地トイレ改修工事、デジタル防災行政無線更新、学校保護者連絡システムについて

大場 康議

浜町緑地公園の利活用、東港地区の開発について

鈴木 将浩

リーディングプロジェクト、知柄漁港・周辺エリア整備、観光コンテンツ魅力創出、ICT支援員派遣、イネーブリングシティについて

中野 香余

職員研修、公立保育園まかない材料費、外国人相談窓口、HPVワクチン、放課後子ども教室について

芦刈 純奈

一時預かり事業、子ども会育成事業費、ごみ減量事業費、放課後児童クラブ、モーターボートイベント等開催事業費について

※青山議員は議長、大須賀議員は副議長、藤田議員は予算委員会副委員長のため質疑なし

「議員→行政」蒲郡の課題を質問！



3月定例会 一般質問YouTube

- 大場 康議 『令和6年度予算大綱について』
- 千賀 充能 『健康保険証、防災計画について』
- 鈴木 将浩 『政策推進に関する課題について』
- 八田 寿人 『来庁者に対するデジタルによる対応について』
- 中野 香余 『災害時の避難所、雇用促進について』
- 藤田 裕喜 『労働者協同組合、公益通報者保護制度、日本語教室について』
- 芦刈 純奈 『地域コミュニティの活性化、児童虐待防止への取り組みについて』

※青山義明議員、大須賀林議員は議長・副議長のため一般質問なし